

気づき、考え、実行する。

いしかわ青少年赤十字ニュース



小・中学生号



2017年3月発行
日本赤十字社石川県支部

青少年赤十字加盟校の活動

いのちの大切さを考える 募金活動

七尾市立山王小学校

山王小学校では、ボランティア委員会を中心に、9月に熊本震災復興、12月に海外たすけあいを目的とした街頭募金活動を行いました。児童自身が、熊本震災で未だ復興の途中であること、世界で1億3000万もの人々が紛争や飢餓等で、命の危機に直面していることを知ったことは大きな収穫でした。自分たちの活動に大きな意義があることを知り、命の大切さ等について考えながら、意欲的に取り組むことができました。また、地域の方の温かい声かけや募金の協力により、達成感や喜びも感じる有意義な活動となりました。



一人暮らしのお年寄りのご自宅訪問

かほく市立宇ノ気中学校

宇ノ気中学校では毎年12月、本校のJRC委員会とかほく市社会福祉協議会が連携して、地域の一人暮らしのお年寄りのご自宅を訪問し、クリスマスカードやシクラメンの鉢、お菓子などを届ける活動をしています。毎年、楽しみにして待ってられるお年寄りも多く、訪問した生徒と楽しそうにお話なさる方や、みかんなどのお土産を準備してくださる方もおられました。



いのちを守るための防災授業

小松市立月津小学校

月津小学校では、9月に地域との合同防災訓練として児童引き渡し訓練を行いました。それを受けて、11月の授業参観では全クラスで防災の授業を行いました。自然災害時の危険に際して、自らの命を守るために適切な避難行動ができるようにすることを授業のねらいとしました。その中で、日本赤十字社の防災教育教材『まもるいのちひろめるぼうさい』の中から、4年生が「地震災害」5年生は「災害にそなえる」を使用しました。ワークシートを活用しながら進め、作文素材「ありがとう」を最後に紹介することで、命の尊さについて考えることができました。



赤十字の国際交流で石川県に来たアフガニスタン赤新月社のメンバーも授業を見学。防災意識の高さに驚いていました。

金沢「絆」の日 清掃活動

金沢市立森本中学校

森本中学校では、7月28日の金沢「絆」の日に地域の小学生と共に清掃活動を行っています。今年は、1年生（約150名）が夏休みのラジオ体操のあとに、活動場所周辺の清掃を行いました。本校では、地域の方と協力して活動し、絆を深め、地域社会に貢献できる人材を目指しています。活動した生徒は、「久しぶりに地域の小学生と一緒に活動し、仲が深まりました。地域の祭りなどを、一緒に盛り上げていきたいです」と話していました。



支部主催宿泊研修会「リーダーシップ・トレーニング・センター」

平成28年7月30日(土)～8月1日(月)、羽咋市の国立能登青少年交流の家で「JRCリーダーシップ・トレーニング・センター」が行われ、県内の小中高生41名が参加しました。参加者は、けがの手当を学んだり、フィールドワーク、赤十字について学ぶゲームなどを通して、リーダーに必要な「気づき、考え、実行する」力を身につけました。



JRC高校生メンバーが手作りの赤十字カルタで赤十字について学びました。



フィールドワークでの「暗闇体験」。目隠しをして、みんなで協力して進みました。

平成29年のトレセンは、**7月29日(土)～31日(月)**国立能登青少年交流の家(羽咋市)で開催!

みなさんの参加をお待ちしています!!



JRC加盟小学校に絵本がおくられました

平成28年10月27日、日本赤十字社の事業を支援している石川県日赤紺綬有功会から、JRC加盟の小学校56校へ絵本がおくられました。おくれた絵本は、日赤長野県支部が制作した『赤十字の父 アンリー・デュナン』1冊と、日本赤十字社名誉副総裁の秋篠宮紀子さまが翻訳された『ちきゅうのなかまたち』シリーズから2冊の計3冊です。

